

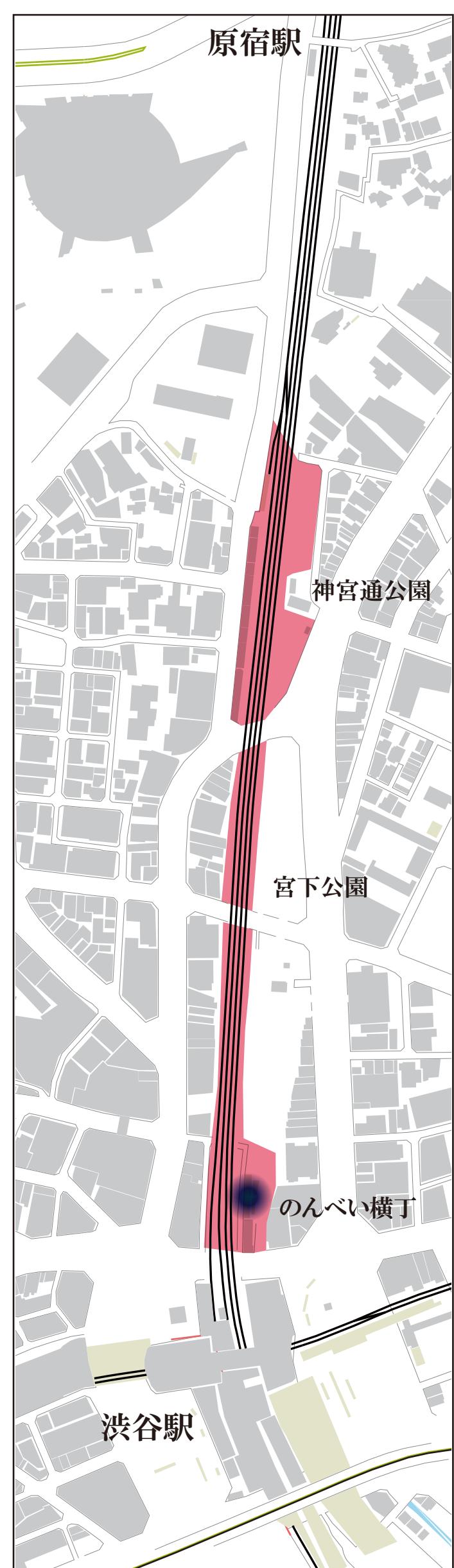
多くの人々が集まる都市の場所や、それぞれの場所どうしの境界あるいは「際」では、現代社会における人と人との「つながり」、又それぞれの活動の「つながり」の希薄化が最も鮮明に表れている。本提案では、その場所や活動の「際」を「切斷するもの」と捉えるだけでなく、「つなげるもの」でもあると考え、それが山の際、水の際、街の際、人の際、生活の際というように、様々な空間と暮らしをつなげて大きなパワーを生み出すことを提案する。都市計画として、都市やまちの「際」に、その場所の「際」ならでわの特徴を持ち、かつ、様々な「つながり」を生み出すしきみを持った公共スペースの計画を行う。

つながる際

エッジの「ヒト」、「モノ」、「コト」



Back Ground



Keyword

樂

人々が解放される場所

遊

自由に遊べる場所

界

結界となる場所

隙

心の隙間をうめる場所

Key Element

「布」は姿を変えてそれぞれの場所にことをつくる

スクリーン

映像や街の様々な出来事を映し出す。
人々は、それをみて、街に出て行く。

ハンモック

人は自由に集い、ねそべったり、様々な
活動をする。

テント

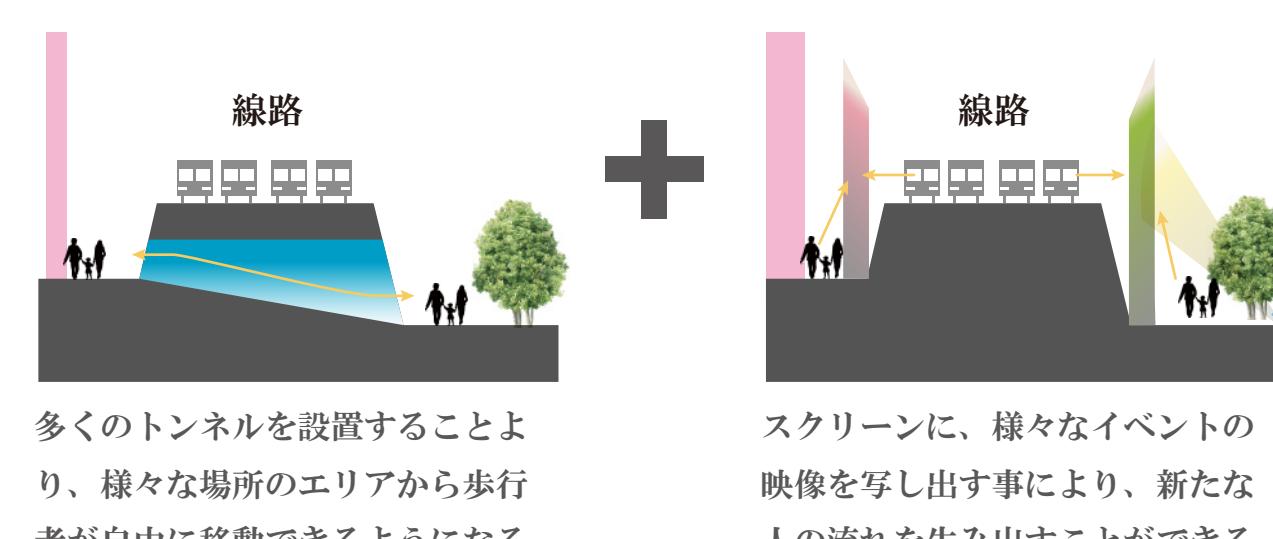
人はそこに留まって、屋台で買い物を
したり、休憩をしたりする。

シェード

人が路地を行き交うための覆いとなる。

Concept Diagram

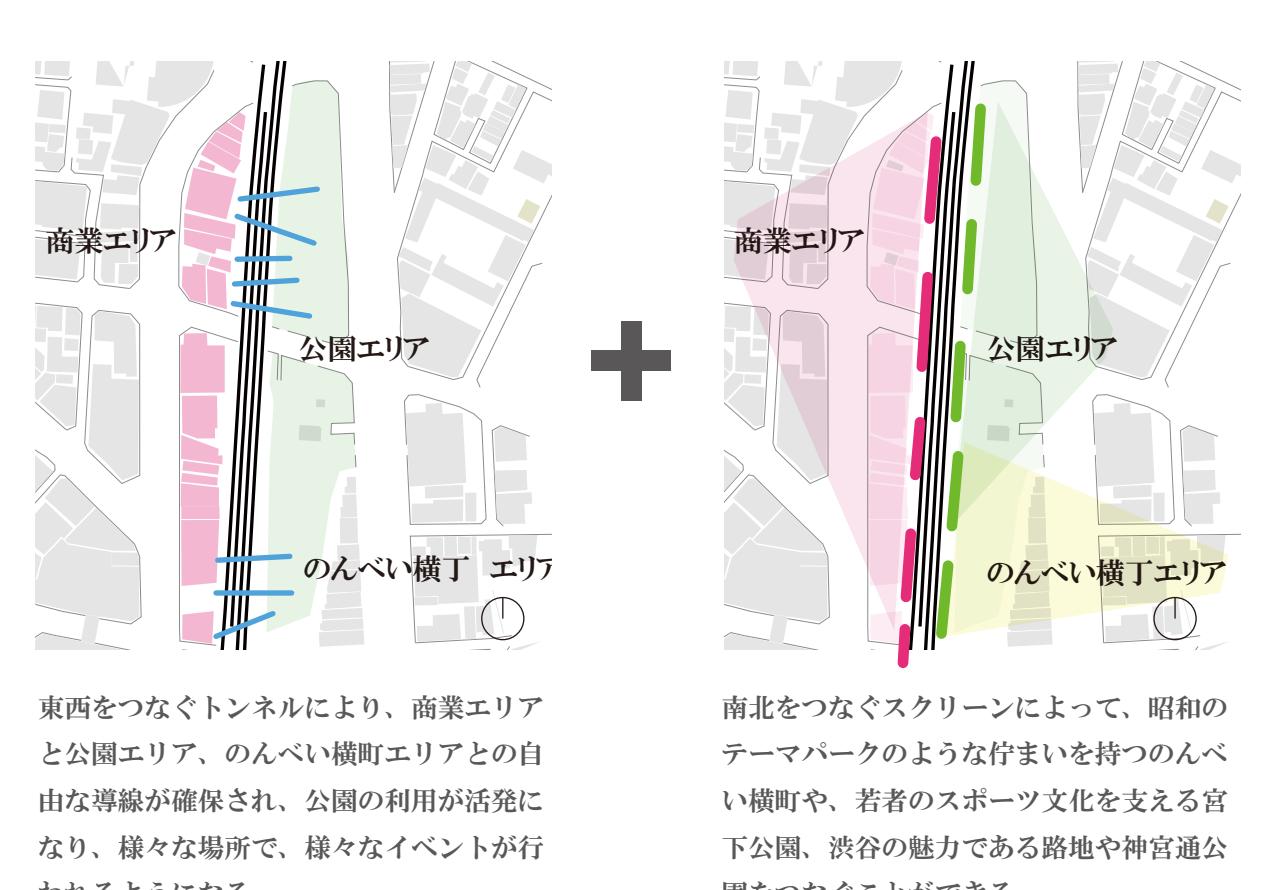
1. 「ヒト」をつなぐ



3. 「コト」を起こす



2. 「場」をつくる



4. 環境への配慮

